

東部循環市立病院線（小和田・ 松浪コース）のルート改善について

① 検討の進捗状況

【STEP1】現況およびニーズ調査

地域特性分析（昨年度整理）

- ・コミュニティバスのニーズ
- ・再編への要望
- ・既存路線バスへの影響

アンケート調査（昨年度実施）

- ・地域での移動実態の把握
- ・バス利用の際の行先ニーズの把握
- ・今後の利用意向

沿線自治会連合会からの意見集約

東部循環（小和田・松浪コース）の検討のポイントを整理

【STEP2】改善案の検討

交通事業者を交えた改善案の検討（現在実施中）

住民説明会の実施（今後実施予定）

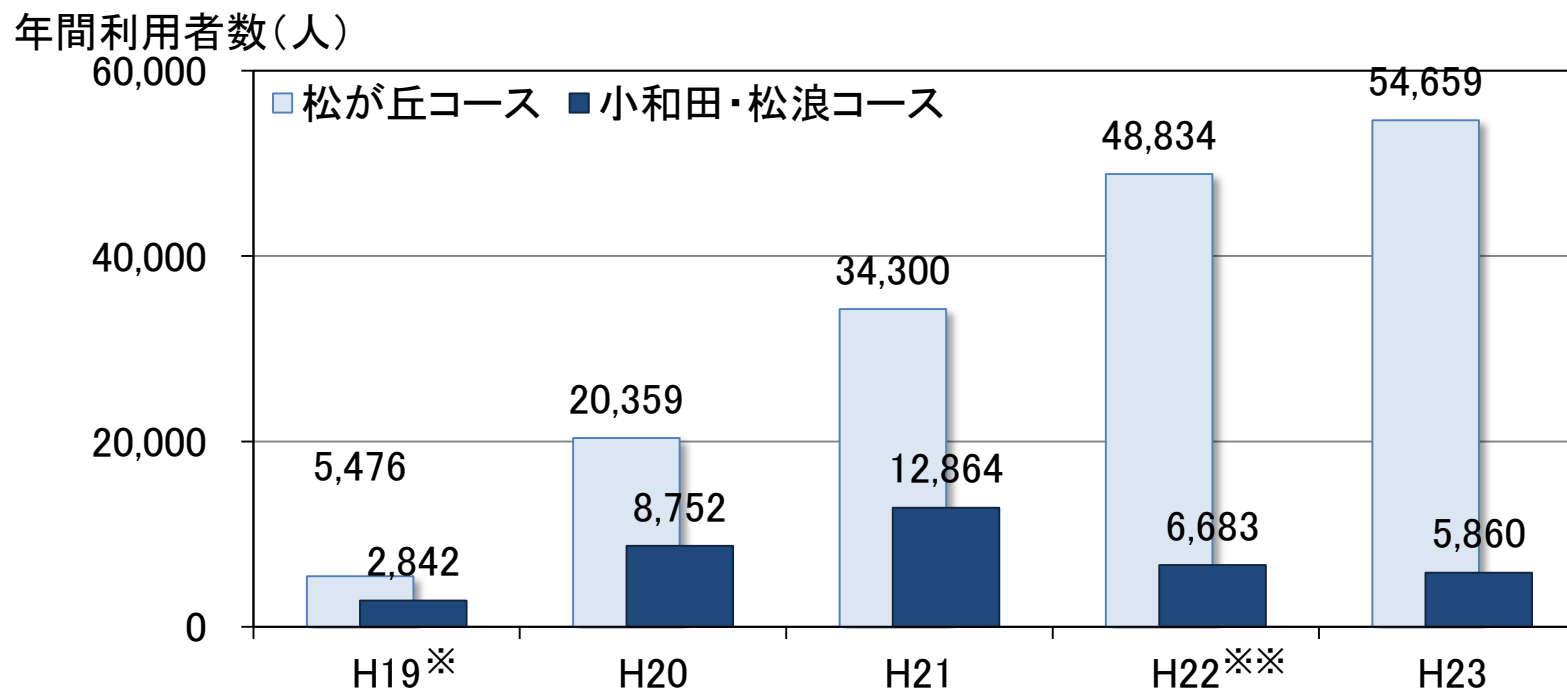
【STEP3】改善案の策定

東部循環（小和田・松浪コース）の改善案の策定 ※交通会議にて合意形成

現段階

② 東部循環市立病院線の現状整理

●東部循環市立病院線の利用状況



※ 平成19年度は運行日数が101日

※※平成22年3月より運行回数を減少(12便⇒6便)

小和田・松浪コースは・・・

- ・1便当たりの利用者数:2.7人(平成23年度実績より)
- ・平成23年度の市の負担割合:71.3%(平成23年度実績より)

② 東部循環市立病院線の現状整理

●小和田・松浪コースへの要望（各自治会より）

① 運行ルートの変更

- ・最寄り駅への接続（辻堂駅、茅ヶ崎駅）
- ・浜竹方面から市立病院へのアクセス確保
- ・バス停から離れた自治会から特に要望

④ 買い物バスとしての運行

- ・病院以外にも、買い物移動に困っている市民がいる

② 運行時間の短縮

- ・市立病院までの乗車時間が長い（その他の手段をつかってしまう）

⑤ 運行していることの周知

- ・時刻表を知っている人が少ないため
- ・時刻表の回覧などを提案

③ 運行本数の増加

- ・1時間に1本程度希望（その他の手段をつかってしまう）

⑥ 徳洲会病院への接続

- ・線路の南側の市民は主に徳洲会病院を利用するため

③ 小和田・松浪コースの検討ポイント

●前提条件

- ・目的地となり得る施設が市立病院のみ

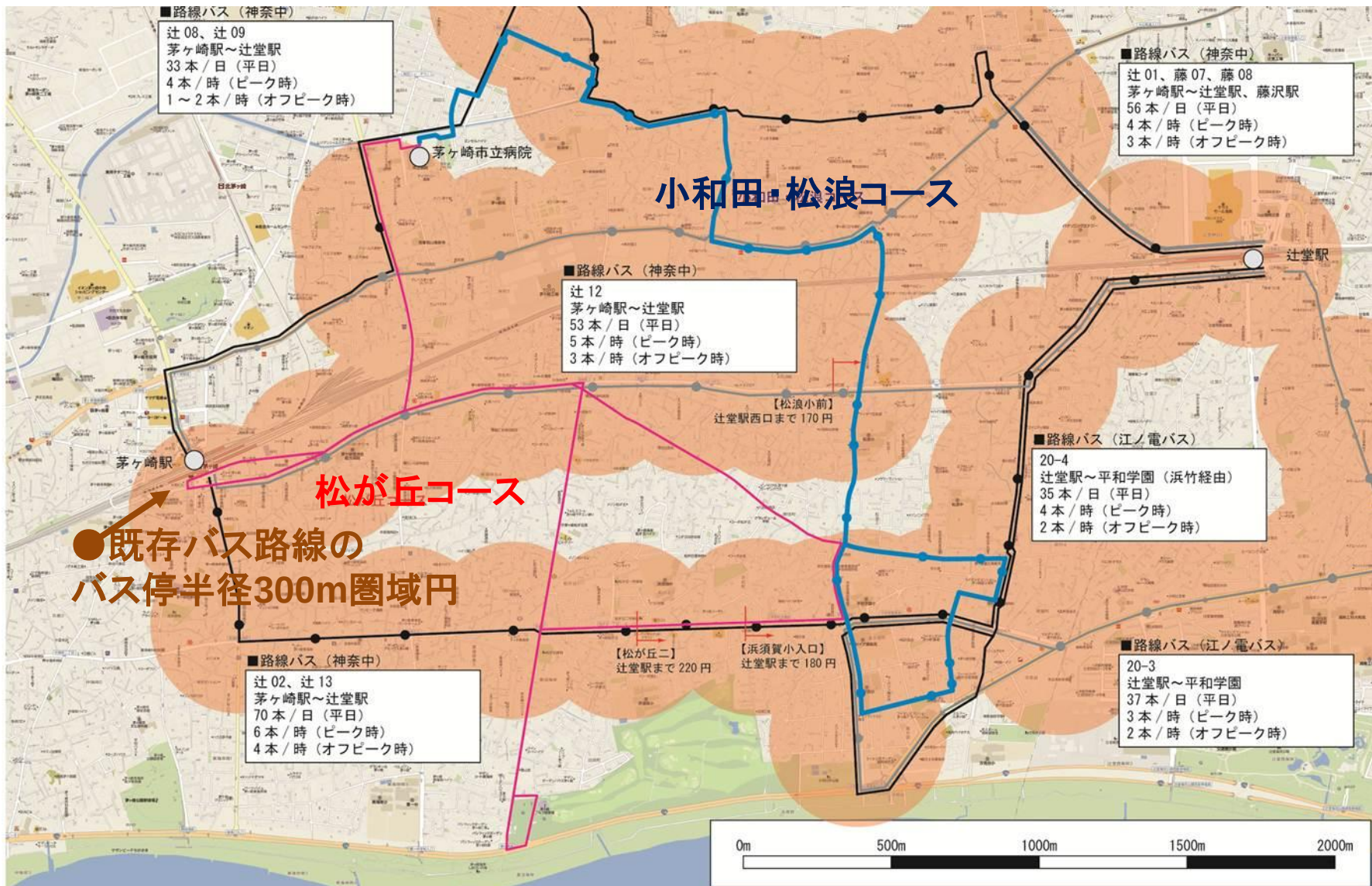
路線変更を行うことで目的地となる施設を増やし、
利用増につなげる

●制約条件

- ・既存路線バスに影響が発生しないよう配慮
 - ⇒コミュニティバスはあくまで路線バスの補完的役割
 - ⇒既存バス路線との役割や競合回避を踏まえることが必要

③ 小和田・松浪コースの検討ポイント

●既存バス路線との関係



④ 今後の検討について

●既存バス路線とのバランスを踏まえた 小和田・松浪コースの見直し検討

- ・既存バス路線との競合が生じにくい路線設定を検討
- ・実証運行などの実施を踏まえ、路線バスへの影響を検証
⇒本格運行の可否を決定する仕組みについて検討

●住民による利用促進の取組み、 本格運行を持続させるための基準の設定

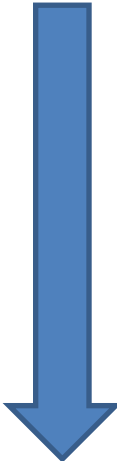
- ・改善による効果の持続に向けた、住民側への十分な周知を実施
- ・本格運行を持続させるための基準(利用者の増加など)を設定
⇒地域住民側の役割や見直しに伴う取り組み内容について議論

④ 今後の検討について

● 基準作りに向けた枠組みの考え方

＜参考＞ 1年間の試行の後、運行継続への可否を決定

運行継続への移行条件設定の例

- 
- ① 利用者が増加しているか（〇人増加、〇%増加など）
 - ② 住民の活動が実施、継続されているか
 - ③ 路線バスへの影響が発生していないか
 - ⇒ 新規コミバス利用者へのアンケートによる、転換前の交通手段の把握
 - ⇒ 既存バス路線からの転換有無の把握

《可否を判断》

運行継続

or

廃止

or

既存バス路線の
利用・活用

④ 今後の検討について

●小和田・松浪コース 乗降調査(実施済み)

- ・詳細な利用実態を把握

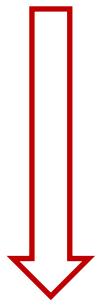


●沿線自治会連合会からの意見集約(実施済み)



●バス事業者を交えた見直しの検討(実施中)

- ・バス事業者を交えた打合せを2度開催
- ・コミュニティバス運行改善検討会議で議論



●住民説明会の実施

●改善案の策定(交通会議での合意形成)

現段階

